

科目区分：中等教育コース（家政教育専攻）

科目名：被服学（2018）

平成30年度「被服学」授業評価・授業研究報告

家政教育・眞鍋 郁代

1. 授業の基本情報・概要

本授業は学校教育教員養成課程中等教育コース家政教育専攻における専門科目であり、家庭科免許取得のための必修科目の一つとなっており、この授業を履修した理由について、5名の家政教育専攻以外のコース・専攻学生が「(二種を含む) 免許取得のため」と回答している。

本年度の受講学生は、1回生18名、2回生3名の合計21名であり、内訳の詳細は小学校サブコース1回生7名・2回生3名、中等教育家政教育専攻3名、英語教育専攻1名、特別支援教育教員養成課程1回生7名となっている。

衣服の素材ならびにその管理に関する基礎的な知識を習得し、理解を深めることと、被服製作に必要な初歩的技能を習得することが、この授業の概要であり、ここで得た知識を自身の快適な衣生活のために生かすことを目標としている。講義形式の授業で衣服材料の成り立ちや性能、原理などについて発問形式を取り入れてまず気づきの場面を入れ、配布資料などを読んで確かめ、図や写真、実物観察などによってわかるように工夫し、さらに簡易なモノづくり等によって考え・応用できるように組み立てている。

<授業スケジュール>

1. 基礎縫い(手縫い) 実習(1) 布の取り扱い、用具の使用法
2. 基礎縫い(手縫い) 実習(2) 手縫い方法
3. 糸の構造(1) 撚り方向と種類、糸の太さの単位
4. 糸の構造(2) 糸の重さ・長さ計測による糸の太さ算出
5. 織物の構造 織り物の種類、性質、観察
6. 編物の構造
7. 天然繊維の性質(1) 植物繊維
8. 天然繊維の性質(2) 動物繊維
9. 化学繊維の性質(1) 再生繊維と半合成繊維

10. 化学繊維の性質(2) 合成繊維

11. 洗たくに関する学習(1) 衣服につく汚れの特徴、性質

12. 洗たくに関する学習(2) 界面活性剤、補助剤の性質

13. ミシンを使った製作実習(1) ミシンの使用方法

14. ミシンを使った製作実習(2) 小物の製作

15. 試験・まとめ

2. 授業評価・授業研究の内容

調査項目を以下に述べる。またそれぞれの質問項目における回答人数も()内に併記した。

履修登録人数は21名であり、授業アンケートに回答した学生数も21名となっている。A あなた自身についてお聞きします。

(1) この授業にどのくらい出席しましたか。

- ①全部(7名) ②1,2回欠席(11名)
③3,4回欠席(1名) ④5回以上欠席(2名) ⑤わからない(0名)

(2) この授業に関して授業時間外の学習時間は1回の授業ごとにどれくらいしましたか。

- ①2時間以上(0名) ②1~2時間(2名)
③30分~1時間(11名) ④30分未満(8名)

(3) 授業に対して意欲的に取り組みましたか。

- ①十分に取組んだ(5名) ②かなり取組んだ(7名) ③普通(9名) ④あまり取組まなかった(0名) ⑤取組まなかった(0名)

(4) この授業を履修した理由

- ①科目名(8名) ②担当教員(0名) ③シラバスの内容(3名) ④時間割の都合(4名)
⑤その他〔自由記述〕(6名)

B 授業についてお聞きします。

(1) 先生の話し方(言葉・声の調子など)は適切でしたか。

- ①そう思う(5名) ②どちらかといえばそう思う(13名) ③どちらともいえない(3名)
④あまりそう思わない(0名) ⑤そう思わな

い (0名)

(2) 板書やパワーポイントの字や図の表現は適切でしたか。

- ①そう思う (13名) ②どちらかといえばそう思う (8名) ③どちらともいえない (0名)
④あまりそう思わない (0名) ⑤そう思わない (0名)

(3) 先生は学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか。

- ①そう思う (6名) ②どちらかといえばそう思う (12名) ③どちらともいえない (2名)
④あまりそう思わない (1名) ⑤そう思わない (0名)

(4) 配布資料、教科書などの教材は適切でしたか。

- ①そう思う (14名) ②どちらかといえばそう思う (6名) ③どちらともいえない (1名)
④あまりそう思わない (0名) ⑤そう思わない (0名)

(5) 授業の内容は興味関心が持てるものでしたか。

- ①そう思う (11名) ②どちらかといえばそう思う (8名) ③どちらともいえない (2名)
④あまりそう思わない (0名) ⑤そう思わない (0名)

(6) 授業の内容は理解できるものでしたか。

- ①そう思う (11名) ②どちらかといえばそう思う (9名) ③どちらともいえない (1名)
④あまりそう思わない (0名) ⑤そう思わない (0名)

(7) この授業を全体的にみたときに、どの程度満足していますか

- ①満足している (13名) ②どちらかといえば満足している (8名) ③どちらともいえない (0名) ④あまり満足していない (0名)
⑤満足していない (0名)

(自由記述)

【この授業を受けて①最も印象に残っているところや内容、②初めて知ったことなどを具体的に挙げてください】

※主なものとして以下のようなコメントがみられた。

①最も印象に残っている内容等

ペットボトルホルダーの製作について、大変だった、楽しかった、できあがって感動した、等 (9名)

実際の布や糸を観察して、実感として学べたことで、自分が今着ている者にも興味がわい

たこと (2名)

繊維や布の種類や特徴について知ることができた (3名)

洗濯の適切な方法について知ることができてよかった (1名)

②初めて知ったこと

- ・糸の撚りのことや布の種類について知ることができた。服選びにも生かしていきたい。
- ・デニールやテックスなど、糸の太さの計算の仕方について。
- ・取り扱い絵表示が新しいもの変わったこと。
- ・繊維によって適切な洗剤の種類が決まっていること。

3.「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について

今年度の授業では、「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について、意識しながら授業をすすめた。例として、①愛媛県を中心として、教員採用試験問題を授業内容になるべく取り入れるようにした。また、関連する研究成果についても併せて紹介するようにした。

②地域の繊維産業の技術が、他の分野に大きな影響を与えた事例をなるべく授業で積極的に紹介した。例)編物組織についての授業で、天然繊維の絹を使用し、経編(たてあみ)の技術を応用することで、現在、人体に負担を与えないことを目的とした新しい人工血管の開発がされている福井県の事例紹介など。

今回、教科内容の授業において「地域社会を核とした教育と研究のつながり」をできるだけ取り入れるようにしたことで、これまで伝えたい知識の羅列になりがちとなり、受講学生の興味・関心を惹く点において弱かったと感じていたが、同じ知識情報であっても、実際に教員採用試験において、このような形で出題されているという例を学生が目当たりすることで、教員を志望する学生が自ら調べてみようとしたり覚えようとする姿勢がみられたことは、いい変化であったと思う。同様に、授業で取り扱う知識が地域産業の技術に活かされている事例紹介も、学生にとって興味関心や理解を促進するものと考えられることから、今度は、愛媛県の地域産業に置いた事例紹介を次年度以降の授業で、積極的に取り入れていきたいと考えている。